

那須地域のどのようなところが 移転先に適しているのですか？



国会等移転審議会では、移転先候補地の答申を行うにあたって、16の評価項目を設け点数を付けました。そして、各項目の重要度を加味した上で総合点を算出しました。

栃木・福島地域（那須・阿武隈地域）は最高の点数を獲得し、移転先地に最もふさわしい地域であるとの評価を得ました。栃木地域（那須地域）も、これに次いで2番目に高い総合点を獲得し、評価項目中1/3もの項目で第1位の評価を受けています。



A7

もっとくわしく！

那須地域は、新都市を整備する上で重要な項目でも高い評価を得ています。

● 土地の円滑な取得の可能性

東北自動車道の西那須野塩原IC周辺には、現在の政治行政の中心となっている霞ヶ関の4倍にあたる400haの国有地がまとまっています。

● 自然環境との共生の可能性

那須野ヶ原は平坦地であることから、土地の造成範囲が少なくてすみ、現在の豊かな自然環境への影響を低く抑えることができます。

【国会等移転審議会の総合評価の結果】

順位	地域名	評価点
1	栃木・福島 (那須・阿武隈)	353
2	栃木 (那須)	344
3	岐阜・愛知	340
4	茨城	333
5	福島	325
6	宮城	320
7	静岡・愛知	316
8	三重	310
9	三重・畿央	302
10	畿央	298



1位は栃木・福島
(那須・阿武隈地域)
地域なのね。

重要

那須地域が第1位の評価を受けた項目

● 国土構造改編の方向

日本の発展方向を東京一極集中型・太平洋ベルト地帯一軸集中型から多極分散型（地方自立型）へと転換できるか 等

太平洋ベルト地帯から離れた発展可能性の高い地域にある

● 文化形成の方向

新しい時代にふさわしい日本の文化を創造していけるか

自然環境が豊かであることから自然と共生した文化が育つ

● 大規模災害時の新都市と主要都市間の情報・交通の確保

大規模な地震災害又は火山災害が発生した場合に新都市と東京、仙台、名古屋、大阪との間の情報・交通が確保できるか

那須地域と主要都市の間には複数の交通手段が確保されている

● 東京とのアクセス容易性

新都市と経済文化の中心である東京との連絡が容易（短時間）にできるか

「近からず、遠からず」の位置にある（新幹線で1時間）

● 景観の魅力

国会都市としての魅力ある景観を備えた新都市をつることができるか

雄大な那須連山と那珂川などの清流がある（秀峰明水）

● 地形の良好性

造成工事の容易性、地盤の安定性、環境の快適性に優れているか

広大な平坦地で豊かな自然環境に恵まれている